

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	永井隆広
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3414
事務事業名	4164 産地ブランド推進事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012200 農業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	060103 農林水産業費・農業費・農業振興費					
	事業	060000 産地ブランド推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
農業産出額が逓減し続ける中、須坂産農産物のブランドイメージの向上、新たな農産物のブランド化が求められているほか、グリーンツーリズムなど新たな農業の展開を想定した取組みが必要。				高付加価値型農業を推進する上での基本となる課題として、安全安心への取り組みを据え、その上に立って、振興果樹の生産拡大による産地ブランドの構築、グリーンツーリズム・地産地消等の推進もって、ブランド化がすすむ。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
新農業創生活動事業補助 4団体 276千円 新品種導入補助 100万円 エコファーマー認定者1,076人	新農業創生活動事業補助 3団体 179千円 新品種導入補助 150万円 エコファーマー認定者1,076人 農業体験プログラム参加者 175人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
新農業創生活動事業補助 1団体 100千円 新品種導入事業補助 150万円 エコファーマー認定者1,063人 農業体験プログラム参加者 191人	新農業創生活動事業補助 1団体 100千円 新品種導入事業補助 150万円 エコファーマー認定者946人 農業体験プログラム参加者 220人
平成26年度 実績	平成27年度 予定
新農業創生活動事業補助 2団体 200千円 新品種導入事業補助 150万円 エコファーマー認定者813人 農業体験プログラム参加者 476人	新農業創生活動事業補助 1団体 100千円 新品種導入事業補助 120千円 農業体験プログラム参加者 300人

指標名	エコファーマー認定数						
算式						単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	1,041	1,043	1,046	1,048	1,050	
	実績	1,076	1,063	946	813		
指標選定の理由	安心・安全な農産物を提供する農業者増加を図る。						
最終年度目標の根拠	平成21年度現状値1,039人から1%増を目標とする。						
指標名	グリーンツーリズム体験プログラム参加人数						
算式						単位	人
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	428	481	534	587	640	
	実績	175	191	220	476		
指標選定の理由	農業と観光が連携することで、体験交流型農業の推進を図る。						
最終年度目標の根拠	200人弱程度で推移している参加者だが毎年100人程度増を目標とした。						
指標名							
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		6,378	2,752
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	3,386	0
	地方債	0	0
	その他	20	0
一般財源		2,972	2,752
人員数(人)	正規職員	1.3	1.3
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	8,915.4	8,915.4
	嘱託職員	2,725.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,640.4	11,640.4
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		18,018.4	14,392.4

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	209	消耗品費48,000円 印刷製本費161,000円
13節 委託費	3,387	発泡ワイン醸造者育成事業委託料3,387,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,442	果樹新品種導入事業補助金1,500,000円ほか942円
その他	340	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	イベント講師等謝礼106,000円
11節 需用費	0	消耗品費100,000円 食糧費20,000円 印刷製本費216,000円 修繕料100,000円
13節 委託費	0	発泡ワイン醸造者育成事業委託料3,134,000円
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,800	果樹新品種導入事業補助金1,500,000円 新農業創生活動補助金200,000円ほか
その他	952	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	首都圏を中心とした各種イベントの参加により、交流人口の糸口が見え始めた。伝統野菜は、各種イベントへの参加効果により認知度が増加した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	グリーンツーリズム関係の体験交流プログラムの参加者数は増加傾向にあるが、目標数値には達していない。学生団体の参加については今後も取組み協力を継続したい。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	イベント出店料については受益者負担を検討	

振り返り（決算年度の取組み課題）

数値化することが難しい事業内容であるが、連携の仕方・工夫により効果が増すことから、単独事業の中にも関係団体との連絡調整を強化して取り組む

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>積極的に県外でのPR活動に取り組んでいる。数値化することが難しいソフト面での活動が多いが、修学旅行の誘客なども定着しつつあり、引き続きの推進が必要である。</p>		<p>各種イベント、おいしい果物により須坂の知名度を向上させ、須坂ブランドを高めていく。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	